

6月の衛研検査情報

～トピックス～

食品中の放射性物質検査結果

平成23年3月に、東日本大震災による福島第一原子力発電所事故がおき、食品中の放射性物質検査が急務となりました。そこで、横浜市衛生研究所においてもガンマ線核種分析装置を導入し、平成23年7月より検査を開始しました。

主な結果 平成25年4月から平成26年3月までに当所に搬入された615検体の詳細な検査結果は、本編の表に示しています。検査の結果、基準値を超えた検体はありませんでした。

平成25年度 家庭用品検査結果

家庭用品担当では日常の生活用品である下着、靴下、帽子、床敷物、カーテンなどの繊維製品および家庭用の接着剤、塗料、ワックス、エアゾル製品、洗浄剤、木材防腐剤などの家庭用化学製品について、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき検査を行っています。

主な結果 平成25年度に規格基準に関する検査で取り扱った検体数は60件、延検査項目数は221件でした。検査結果、規格基準を超えた検体はありませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成26年4月は、クロストリジウム-ディフィシル感染症、ぎょう虫（蟻虫）症、B群レンサ球菌（GBS）感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は121,807件でした。

5月は、ぎょう虫（蟻虫）症、クロストリジウム-ディフィシル感染症、MDMA（通称：エクスタシー）、B群レンサ球菌（GBS）感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は140,365件でした。

なお、本年度より集計システムが変更され、数日でアクセスの動向が得られるようになりました。

皆様の関心がこれまでより早く伝わり、検査情報月報でも、一月早く報告することができるようになります。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。